

DIC株式会社

2020年度決算 説明資料

2021年2月



Color & Comfort

ハイライト

20年の振り返り

- 売上高は、減収。コロナ禍が世界的に長期化するなか、当第4四半期（10～12月）は幅広い地域で経済活動が回復したことで、自動車向け材料、出版用インキを中心に多くの製品の出荷が戻るも、通期では全てのセグメントで前年同期比で減収となった。第3四半期（7～9月）との比較では、当第4四半期は9.6%の増収
- 営業利益は、減益。通期で減収となったものの、原料価格の低下、活動経費の減少と合理化を含めたコスト削減効果や当第4四半期における出荷数量の回復もあり、現地通貨ベースでは1.5%の増益となったが、新興国通貨安などによる海外事業の換算目減りが利益を押し下げた
- 純利益は、減益。2019年8月29日に公表したBASF社の顔料事業取得に伴う買収関連の一時費用が発生したことに加え、同事業取得に関連した特別損失を計上した

21年の見通し

- 全セグメントで増収・増益を計画、営業利益450億円の見通し。BASF社顔料事業取得完了後に見通しを修正予定
- 年間配当は100円を計画

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2020年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別四半期業績推移

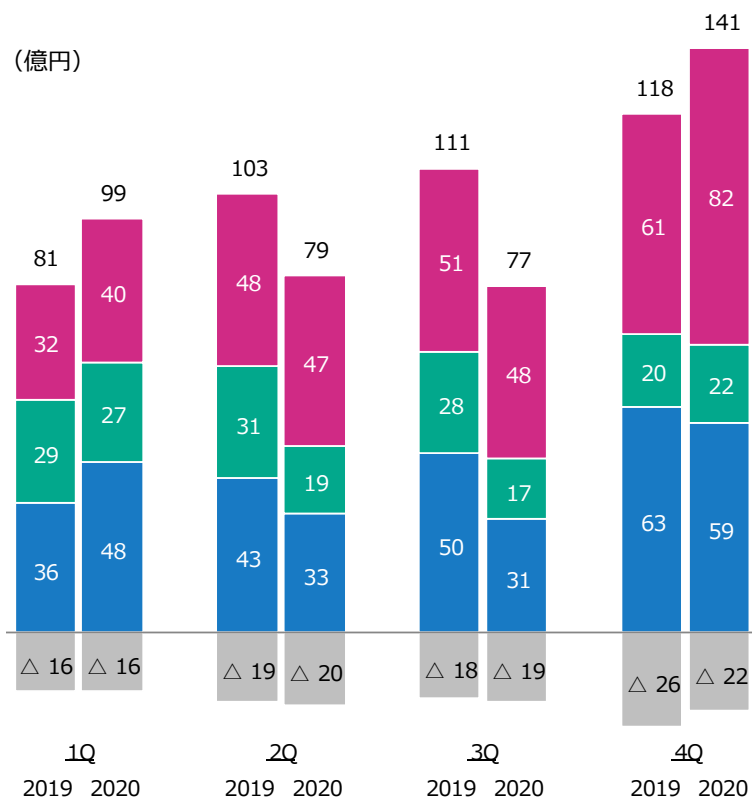
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



パッケージング&グラフィック

カラー&ディスプレイ

ファンクショナルプロダクト

その他、全社・消去

業績概要

(億円)	2019	2020	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2021 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	7,686	7,012	△8.8%	△6.2%	7,500	+ 7.0%	+ 7.1%
営業利益	413	397	△4.0%	+ 1.5%	450	+ 13.5%	+ 13.1%
営業利益率	5.4%	5.7%	—	—	6.0%	—	—
経常利益	413	365	△11.7%	—	420	+ 15.2%	—
純利益*	235	132	△43.7%	—	200	+ 51.1%	—
1株当たり純利益 (円)	248.29	139.81	—	—	211.30	—	—
EBITDA**	674	556	△17.5%	—	648	+ 16.6%	—
ROE	7.7%	4.2%	—	—	6.2%	—	—
平均レート	USD/円	109.11	106.37	△2.5%	105.00	△1.3%	
	EUR/円	122.13	121.43	△0.6%	125.00	+ 2.9%	

* 親会社株主に帰属する当期純利益

**EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

連結損益計算書

(億円)	2019	2020	増 減
売上高	7,686	7,012	△ 673
売上原価	△ 6,032	△ 5,444	588
販売費及び一般管理費	△ 1,240	△ 1,171	69
営業利益	413	397	△ 17
金融収支	△ 13	△ 10	3
持分法投資利益	25	8	△ 17
為替差損益	△ 8	△ 14	△ 6
その他	△ 4	△ 16	△ 12
経常利益	413	365	△ 49
特別利益	44	71	26
特別損失	△ 111	△ 184	△ 73
税前利益	347	251	△ 96
法人税等	△ 93	△ 87	6
当期純利益	253	164	△ 89
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 18	△ 32	△ 13
親会社株主に帰属する当期純利益	235	132	△ 103
平均レート			
USD/円	109.11	106.37	
EUR/円	122.13	121.43	

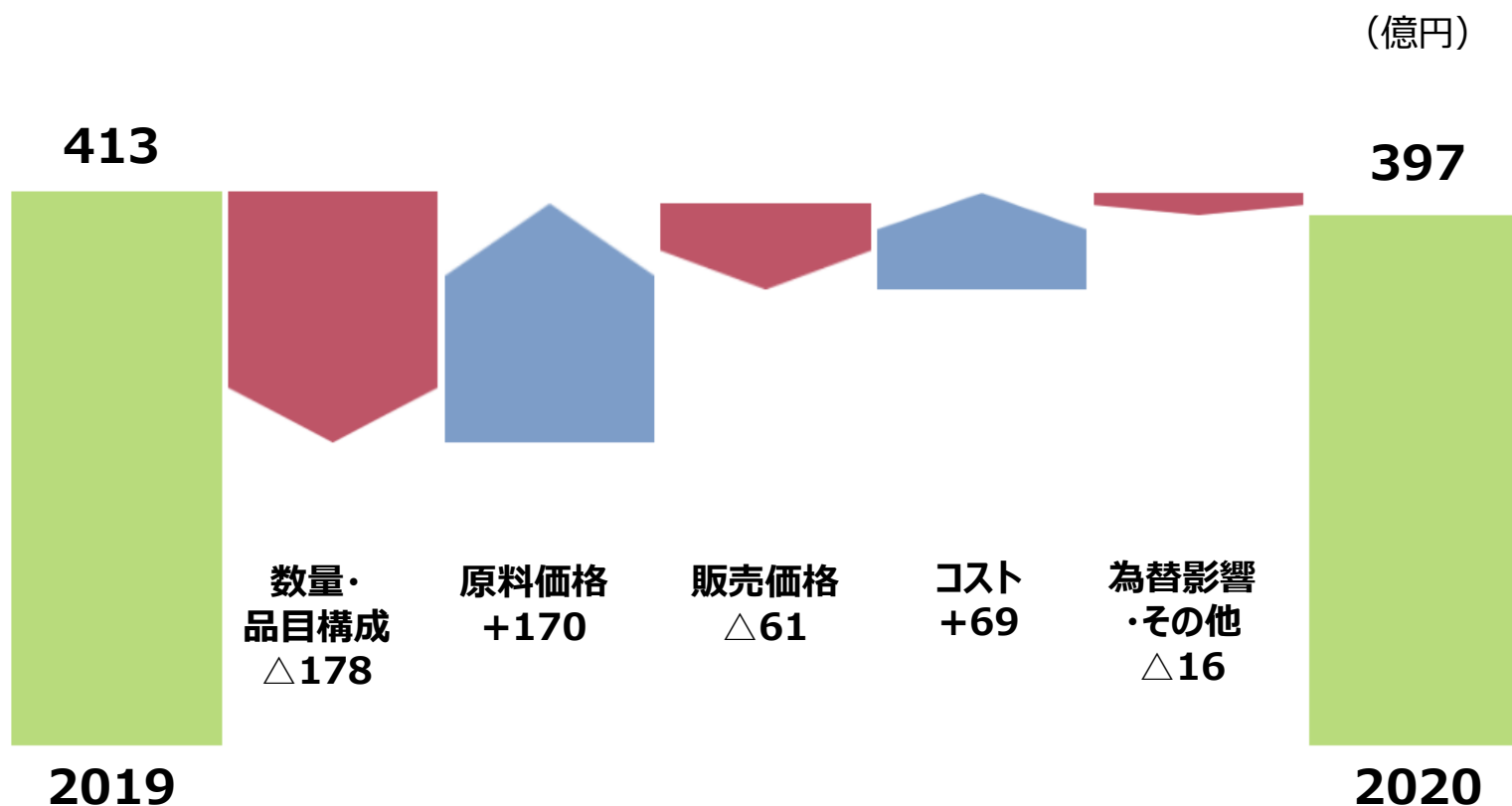
	2019	2020
特別利益		
固定資産売却益	14	52
負ののれん発生益	-	13
受取保険金	14	5
関係会社株式及び出資金売却益	16	-
特別損失		
事業整理損*	-	△ 88
買収関連費用**	△ 19	△ 46
固定資産処分損	△ 24	△ 29
減損損失	△ 31	△ 13
リストラ関連退職損失	△ 8	△ 9
災害による損失	△ 15	-
貸倒引当金繰入額	△ 6	-
過去勤務費用償却額	△ 4	-
関係会社株式及び出資金売却損	△ 3	-

*BASF社顔料事業買収にあたって独占禁止法上の問題は正措置として行う事業売却に際して発生が見込まれる損失

**BASF社顔料事業買収関連

営業利益増減要因

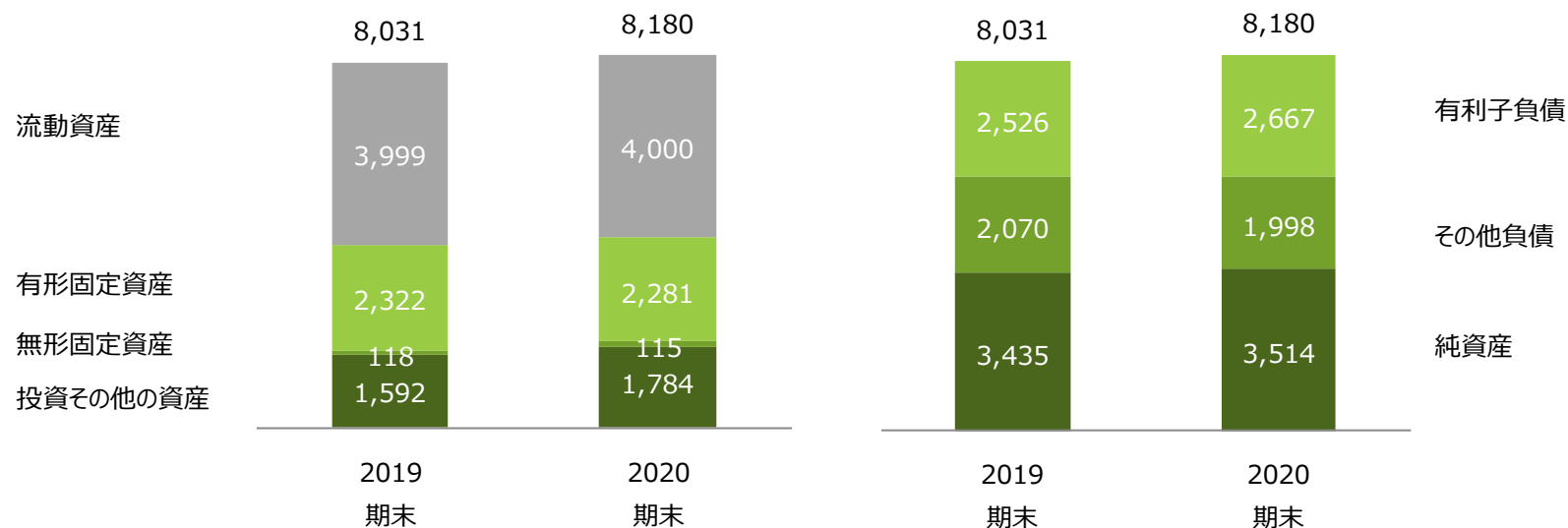
- 当第4四半期（10～12月）に大幅な出荷の回復があったものの、通期では出荷数量の落ち込みは依然として大きい
- 原料価格の低下に加え、合理化を含め幅広くコストが減少したが、数量の落ち込みをカバーできず減益となった



財務体質

バランスシート

(億円)



財務体質

(億円)	2019 期末	2020 期末	増減
有利子負債	2,526	2,667	141
ネット有利子負債	2,358	2,219	△ 139
純資産	3,435	3,514	79
D/CLレシオ *	42.4%	43.2%	
ネットD/CLレシオ **	40.7%	38.7%	
自己資本比率	38.9%	38.9%	
1株当たり純資産 (円)	3,304.34	3,364.92	
期末レート USD/円	108.71	103.14	

* D/CLレシオ : 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

** ネットD/CLレシオ : ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019	2020	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019	2020	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2019	2020
パッケージング&グラフィック	4,164	3,884	△ 280	△6.7%	△2.9%	192	218	26	+ 13.5%	+ 23.3%	4.6%	5.6%
日本	1,147	1,023	△ 123	△10.7%	△10.7%	64	53	△ 11	△17.3%	△17.3%	5.6%	5.2%
米州・欧州	2,443	2,354	△ 88	△3.6%	+ 2.0%	82	122	39	+ 47.8%	+ 65.8%	3.4%	5.2%
アジア他	687	620	△ 67	△9.7%	△6.3%	45	44	△ 1	△1.2%	+ 2.0%	6.5%	7.1%
連結調整	△ 113	△ 114	△ 1	-	-	1	△ 1	△ 2	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,164	1,058	△ 106	△9.1%	△6.7%	108	84	△ 23	△21.7%	△19.7%	9.3%	8.0%
日本	297	279	△ 17	△5.8%	△5.8%	48	56	8	+ 15.8%	+ 15.8%	16.3%	20.0%
海外	958	852	△ 106	△11.0%	△8.0%	60	28	△ 31	△52.5%	△49.0%	6.2%	3.3%
連結調整	△ 91	△ 74	17	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,686	2,360	△ 326	△12.1%	△11.6%	192	171	△ 21	△11.1%	△10.6%	7.2%	7.2%
日本	1,993	1,761	△ 232	△11.6%	△11.6%	116	83	△ 33	△28.3%	△28.3%	5.8%	4.7%
海外	919	809	△ 111	△12.0%	△10.2%	75	87	13	+ 16.9%	+ 19.0%	8.1%	10.8%
連結調整	△ 227	△ 210	17	-	-	2	1	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 328	△ 290	38	-	-	△ 79	△ 76	2	-	-	-	-
連結合計	7,686	7,012	△ 673	△8.8%	△6.2%	413	397	△ 17	△4.0%	+ 1.5%	5.4%	5.7%
USD/円	109.11	106.37		△2.5%		109.11	106.37		△2.5%			
EUR/円	122.13	121.43		△0.6%		122.13	121.43		△0.6%			

パッケージング&グラフィック

売上高

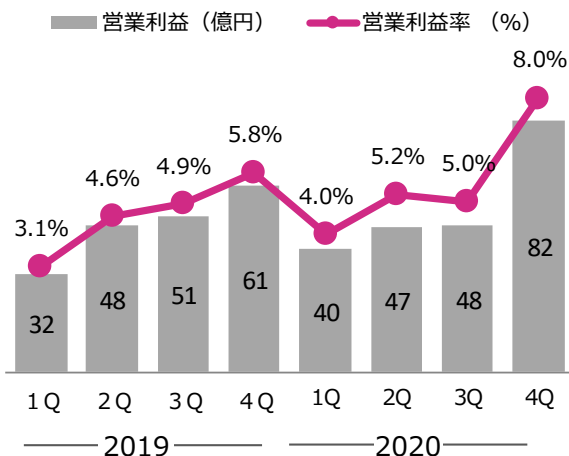
- 米州・欧州ではパッケージ用インキの出荷が堅調に推移、下期には出版用インキのシェアアップによる売上増もあり、現地通貨ベースで増収。円貨ベースでは新興国通貨安の影響により減収
- 出版用インキの比率が高い日本はコロナ禍による広告および商業印刷の需要減少の影響大きく、第2四半期（4～6月）を底に回復傾向にあるものの通期では減収

営業利益

- 米州・欧州で印刷インキの出荷が堅調であることから増益。合理化効果、原料価格低下も寄与
- 高付加価値品であるジェットインキの出荷増も当第4四半期（10～12月）の利益率を押し上げた

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019	2020	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2019	2020	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2019	2020
パッケージング&グラフィック	4,164	3,884	△ 280	△6.7%	△2.9%	192	218	26	+ 13.5%	+ 23.3%	4.6%	5.6%
日本	1,147	1,023	△ 123	△10.7%	△10.7%	64	53	△ 11	△17.3%	△17.3%	5.6%	5.2%
米州・欧州	2,443	2,354	△ 88	△3.6%	+ 2.0%	82	122	39	+ 47.8%	+ 65.8%	3.4%	5.2%
アジア他	687	620	△ 67	△9.7%	△6.3%	45	44	△ 1	△1.2%	+ 2.0%	6.5%	7.1%
連結調整	△ 113	△ 114	△ 1	-	-	1	△ 1	△ 2	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
パッケージ用インキ*	△0%	米州・欧州を中心に堅調な出荷となった
出版用インキ*	△18%	各地域で第3四半期からの回復が見られたが、コロナ禍により落ち込んだ需要を取り戻すには至らず、減収
ジェットインキ	+ 4%	第3四半期までの需要減少の反動および下期から参入したテキスタイル用途の売上実績化により通期では増収となった
ポリスチレン	△14%	数量ベースでは前年並みだが、製品価格の低下に伴い減収
多層フィルム	△2%	フードロス削減対応の食品包装に対する需要があり、年間を通して底堅い出荷

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

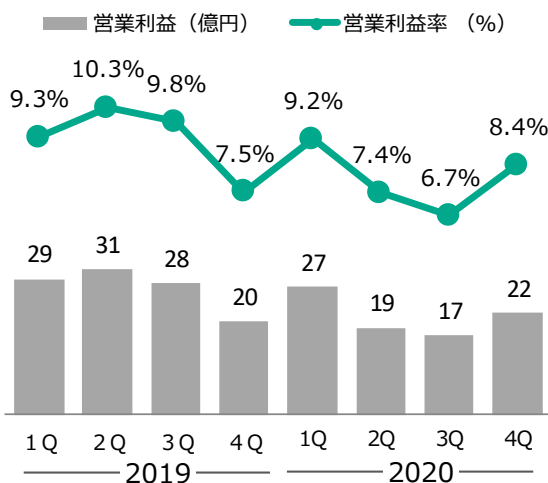
- 液晶パネル市場の旺盛な需要に伴い、当第4四半期（10～12月）に入ってカラーフィルタ用顔料やTFT液晶の出荷が好調に推移
- 生活様式の変化により大きな影響を受けている化粧品用顔料では低調な出荷が続いている

営業利益

- 海外において生産調整に伴う一部工場の稼働率の低下により、固定費などのコストを吸収できず大幅に減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019	2020	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2019	2020	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2019	2020
カラー&ディスプレイ	1,164	1,058	△ 106	△9.1%	△6.7%	108	84	△ 23	△21.7%	△19.7%	9.3%	8.0%
日本	297	279	△ 17	△5.8%	△5.8%	48	56	8	+ 15.8%	+ 15.8%	16.3%	20.0%
海外	958	852	△ 106	△11.0%	△8.0%	60	28	△ 31	△52.5%	△49.0%	6.2%	3.3%
連結調整	△ 91	△ 74	17	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
一般顔料	△8%	インキ用顔料は低調な出荷が継続、塗料・プラスチック用顔料では回復しつつある
機能性顔料	△12%	当第4四半期に入りカラーフィルタ用顔料の出荷が好調だが、化粧品用顔料では苦戦が続いている
液晶	△6%	液晶パネル市場の旺盛な需要に伴い、前年差は縮小
ヘルスケア食品	△5%	ドラッグストアでの健康食品売上が苦戦、天然系青色素は着実に伸長

ファンクショナルプロダクツ

売上高

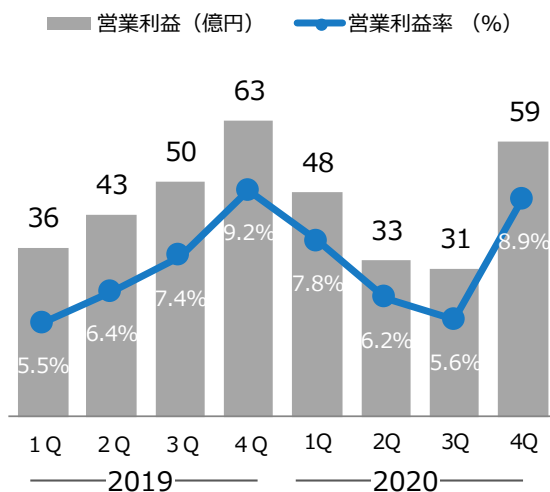
- 自動車やエレクトロニクス関連を中心に売上は大幅に回復。第3四半期（7～9月）との比較では、当第4四半期（10～12月）は17.4%の増収

営業利益

- 売上の戻りに加え高付加価値品であるエポキシ樹脂の回復により品目構成が改善。当第4四半期の営業利益は大幅に増加。通期では第2～3四半期の売上減少を原料価格の低下とコスト削減でカバーできず減益となった

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2019	2020	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2019	2020	増減	増減比	現地通貨ベース増減比	2019	2020
ファンクショナルプロダクツ	2,686	2,360	△ 326	△12.1%	△11.6%	192	171	△ 21	△11.1%	△10.6%	7.2%	7.2%
日本	1,993	1,761	△ 232	△11.6%	△11.6%	116	83	△ 33	△28.3%	△28.3%	5.8%	4.7%
海外	919	809	△ 111	△12.0%	△10.2%	75	87	13	+ 16.9%	+ 19.0%	8.1%	10.8%
連結調整	△ 227	△ 210	17	-	-	2	1	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
サステナブル樹脂*	△12%	自動車関連を中心に出荷が回復し前年差縮小
エポキシ樹脂	△3%	第3四半期の減速により通期では減収
PPSコンパウンド	△11%	自動車市場の回復に伴い当第4四半期では増収だが、通期では減収
工業用テープ	+ 8%	スマートフォン向けの出荷が好調
中空系膜モジュール	+ 5%	半導体製造用途の出荷が好調

*環境対応と機能性を高めることを目指した樹脂戦略製品の総称で、水性、UV硬化型、ポリエステル、アクリル、ウレタン樹脂が含まれる

連結貸借対照表

(億円)	2019 期末	2020 期末	増 減
流動資産	3,999	4,000	1
有形固定資産	2,322	2,281	△ 41
無形固定資産	118	115	△ 3
投資その他の資産	1,592	1,784	192
資産合計	8,031	8,180	149
流動負債	2,101	1,972	△ 129
固定負債	2,495	2,694	199
負債合計	4,596	4,666	70
株主資本	4,074	4,090	16
その他の包括利益累計額 (為替換算調整勘定)	△ 947 (△727)	△ 905 (△823)	41 (△97)
非支配株主持分	308	329	21
純資産合計	3,435	3,514	79
負債純資産合計	8,031	8,180	149
期末レート USD/円	108.71	103.14	
自己資本比率	38.9%	38.9%	
有利子負債残高	2,526	2,667	141
現預金残高	168	449	281

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2019	2020	増 減
営業キャッシュ・フロー	506	545	38
(債権流動化影響の控除後)	(+ 637)	(+ 545)	(△92)
投資キャッシュ・フロー	△ 249	△ 330	△ 82
財務キャッシュ・フロー	△ 268	63	331
(債権流動化影響の控除後)	(△398)	(+ 63)	(+ 461)
現金及び現金同等物の期末残高	167	414	247
フリーキャッシュ・フロー	258	214	△ 43
(債権流動化影響の控除後)	(+ 388)	(+ 214)	(△174)
運転資本の増減額	△ 82	85	167
(債権流動化影響の控除後)	(+ 48)	(+ 85)	(+ 37)
設備投資・投融資	375	371	△ 4
減価償却費	331	326	△ 5

2021年度：通期の業績見通し

(億円)	2020	2021 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	7,012	7,500	+ 7.0%	+ 7.1%
営業利益	397	450	+ 13.5%	+ 13.1%
営業利益率	5.7%	6.0%	—	—
経常利益	365	420	+ 15.2%	—
純利益*	132	200	+ 51.1%	—
1株当たり純利益(円)	139.81	211.30	—	—
EBITDA**	556	648	+ 16.6%	—
設備投資・投融資	371	425	+ 14.5%	
減価償却費	326	330	+ 1.3%	
平均レート				
USD/円	106.37	105.00	△1.3%	
EUR/円	121.43	125.00	+ 2.9%	
ROE	4.2%	6.2%		
D/クレシオ ***	43.2%	40.0%		
年間配当/株(円)	100.0	100.0		
配当性向	71.5%	47.3%		

* 親会社株主に帰属する当期純利益

** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

***D/クレシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

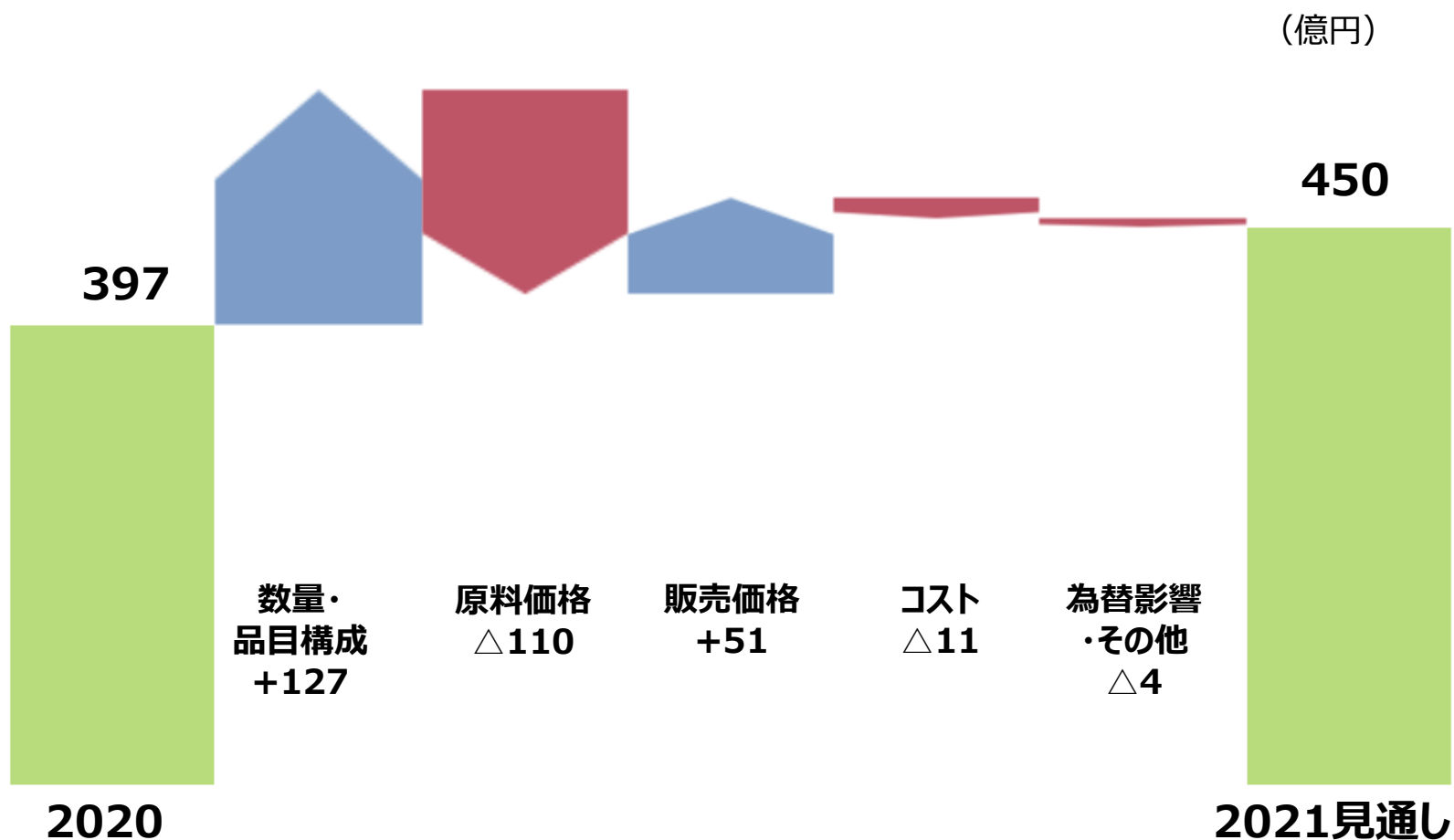
2021年度：上期の業績見通し

(億円)	2020 2Q	2021 2Q見通し	増減比	
売上高	3,437	3,680	+ 7.1%	
営業利益	178	205	+ 14.9%	
営業利益率	5.2%	5.6%	—	
経常利益	156	190	+ 22.1%	
純利益*	103	90	△12.9%	
1株当たり純利益(円)	109.18	95.09	—	
平均レート	USD/円	108.03	105.00	△2.8%
	EUR/円	118.99	125.00	+ 5.1%

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

通期営業利益増減要因

- 国内外の感染再拡大による下振れリスクはあるが、出荷回復の動きが継続すると見込む
- 原油需要の高まりにより原油価格の上昇が見込まれるが、中期経営計画で掲げた Value Transformation（質的転換による事業体質強化）のもと事業ポートフォリオ転換をすすめ差別化された高付加価値品の上市と拡販に取り組む



2021年度：通期のセグメント別業績見通し

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020	2021 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021 見通し
パッケージング&グラフィック	3,884	4,085	201	+ 5.2%	+ 5.2%	218	232	15	+ 6.7%	+ 6.8%	5.6%	5.7%
日本	1,023	1,055	32	+ 3.1%	+ 3.1%	53	56	3	+ 6.3%	+ 6.3%	5.2%	5.3%
米州・欧州	2,354	2,446	92	+ 3.9%	+ 4.0%	122	125	3	+ 2.5%	+ 2.6%	5.2%	5.1%
アジア他	620	694	74	+ 12.0%	+ 11.7%	44	52	8	+ 17.2%	+ 18.0%	7.1%	7.5%
連結調整	△ 114	△ 110	3	-	-	△ 1	△ 1	1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	1,058	1,113	55	+ 5.2%	+ 5.6%	84	106	22	+ 25.7%	+ 23.3%	8.0%	9.5%
日本	279	284	5	+ 1.7%	+ 1.7%	56	60	4	+ 8.0%	+ 8.0%	20.0%	21.3%
海外	852	933	81	+ 9.5%	+ 10.0%	28	46	17	+ 61.3%	+ 52.4%	3.3%	4.9%
連結調整	△ 74	△ 104	△ 30	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,360	2,598	238	+ 10.1%	+ 10.4%	171	202	31	+ 17.9%	+ 18.4%	7.2%	7.8%
日本	1,761	1,938	176	+ 10.0%	+ 10.0%	83	112	29	+ 34.7%	+ 34.7%	4.7%	5.8%
海外	809	854	46	+ 5.6%	+ 6.5%	87	90	2	+ 2.8%	+ 3.7%	10.8%	10.5%
連結調整	△ 210	△ 195	16	-	-	1	△ 0	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 290	△ 296	△ 7	-	-	△ 76	△ 90	△ 14	-	-	-	-
連結合計	7,012	7,500	488	+ 7.0%	+ 7.1%	397	450	53	+ 13.5%	+ 13.1%	5.7%	6.0%
USD/円	106.37	105.00		△1.3%		106.37	105.00		△1.3%			
EUR/円	121.43	125.00		+ 2.9%		121.43	125.00		+ 2.9%			

BASF社顔料事業の取得について

スケジュール

2021年第1四半期中のクロージングを予定しているが、本件のクロージングは米連邦取引委員会からの承認を前提としているため、承認手続きの進捗次第では買収実行日が2021年上期中に変更となる可能性あり。クロージング日が確定次第、速やかに開示予定

競争法クリアランス

当社とBASF社が一定のシェアを持つ自動車向け顔料について、独占禁止法上の問題是正措置として、当社の米国子会社Sun Chemicalのブッシーパーク工場（米サウスカロライナ州）で生産されている高級顔料に関わる事業を売却する方針を決定
米連邦取引委員会からの承認を得るための作業を継続中

2020年度業績への影響

2020年度決算において、上記の売却を実行した際に発生が見込まれる損失を事業整理損として特別損失に計上

主なトピックス (2020年10月～12月)

10月

循環型社会の実現へ、プラスチックのマテリアルリサイクル高度化に向けたパッケージ素材の研究開発がNEDOの委託事業に採択
 – 廃プラスチックの資源価値を飛躍的に高める材料再生プロセスの高度化を目指す –

10月

ドイツ BASF 社の顔料事業に関する株式及び資産の取得時期を2021年第 1 四半期中へ変更

10月

肌のバリア機能を高める機能性表示食品『PHYCONA フィコナ』を新発売

11月

DICとエフピコがケミカルリサイクルによるポリスチレンの完全循環型リサイクルの社会実装に向けて協業の検討を開始

11月

サステナビリティ活動のベンチマーク「ダウ ジョーンズ サステナビリティ インデックス アジアパシフィック」(DJSI AP) の構成銘柄に6年連続で採用

12月

回収ペットボトルを原料とした軟包装材用接着剤「ディックドライ LX-RPシリーズ」を開発
 – 使用済みペットボトルの有効活用により循環型社会の実現に貢献 –

12月

特殊形状フィラー“板状アルミナ”『CeramNex (セラネクス) ™ AP10』を開発
 – 電子部材の高強度化や高い放熱性を実現し、CASEや5Gの普及に貢献 –

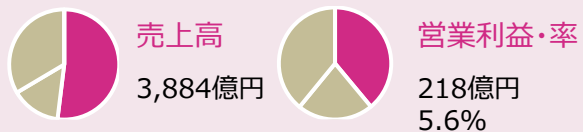
ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2020/>



事業セグメントと主要製品

提供価値

パッケージング & グラフィック



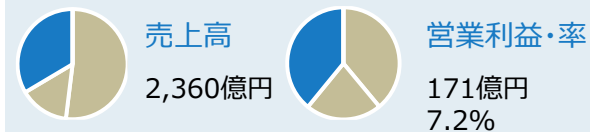
包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー & ディスプレイ



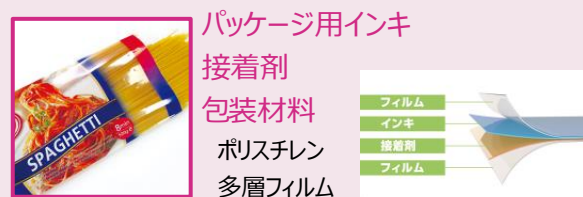
表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクト

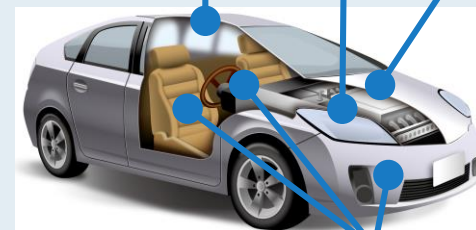
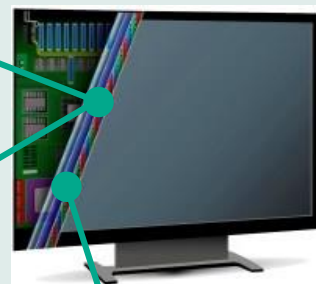
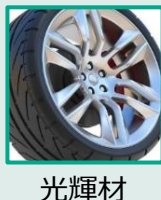


機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品

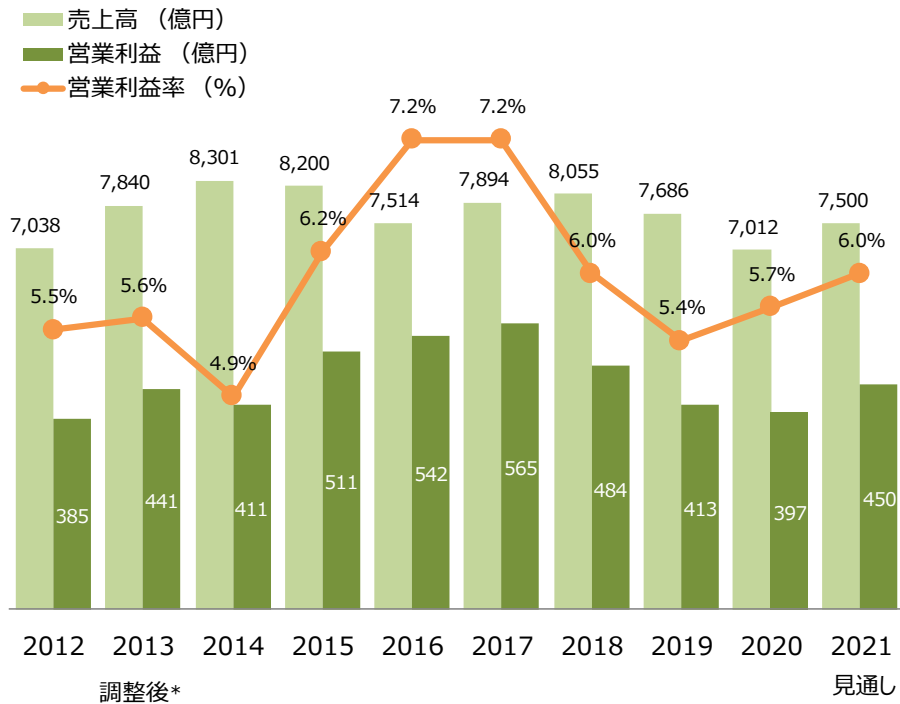


機能性顔料



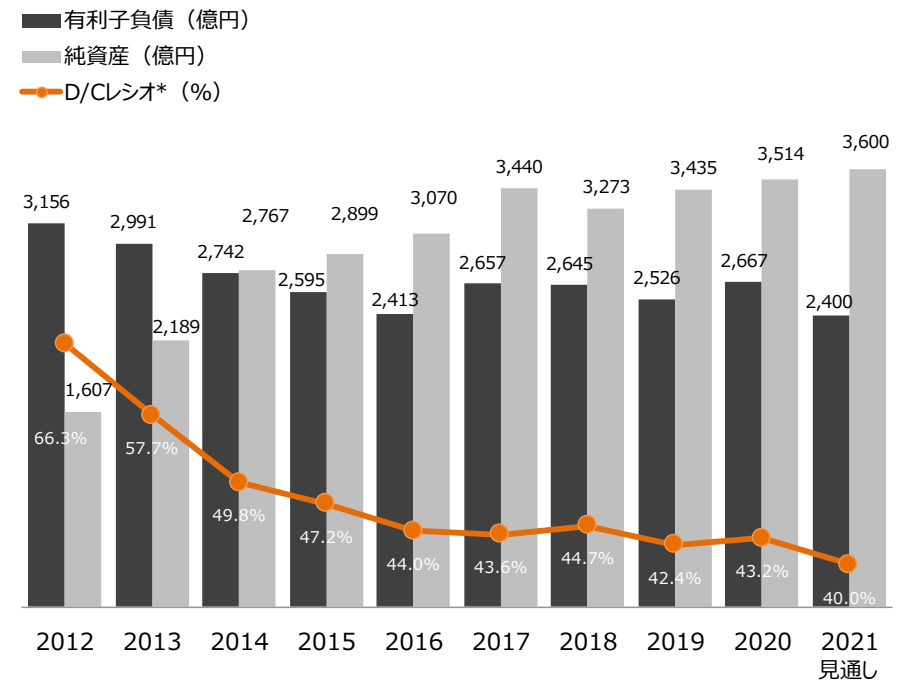
業績の推移 (参考)

業績



*決算期変更の影響を調整しています

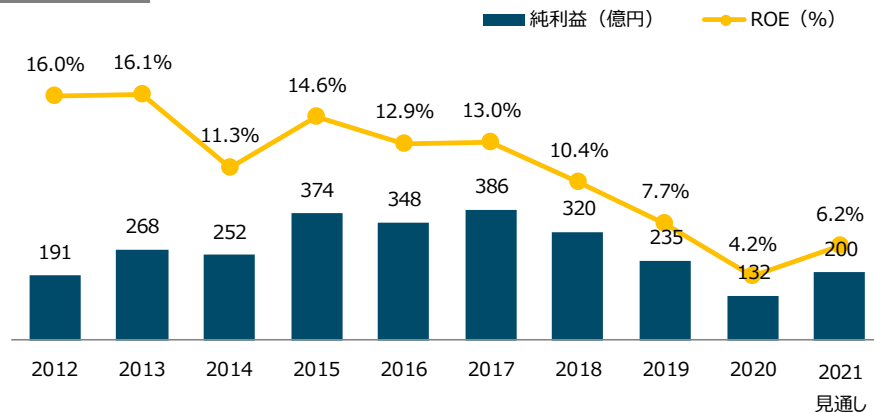
財務体質



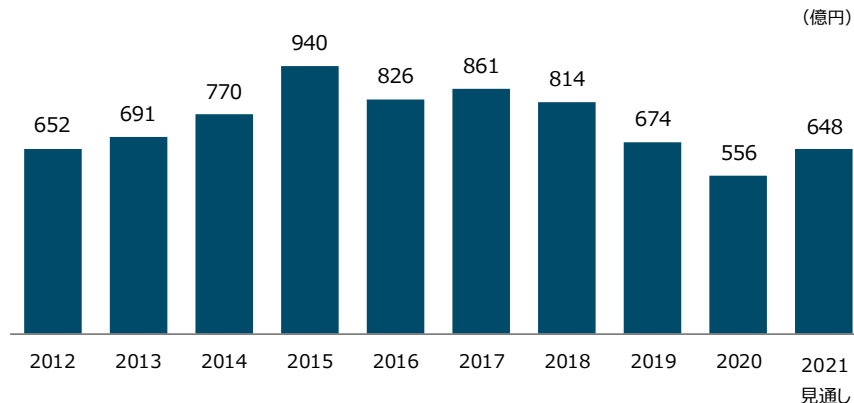
*D/CLレシオ: 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

業績の推移 (参考)

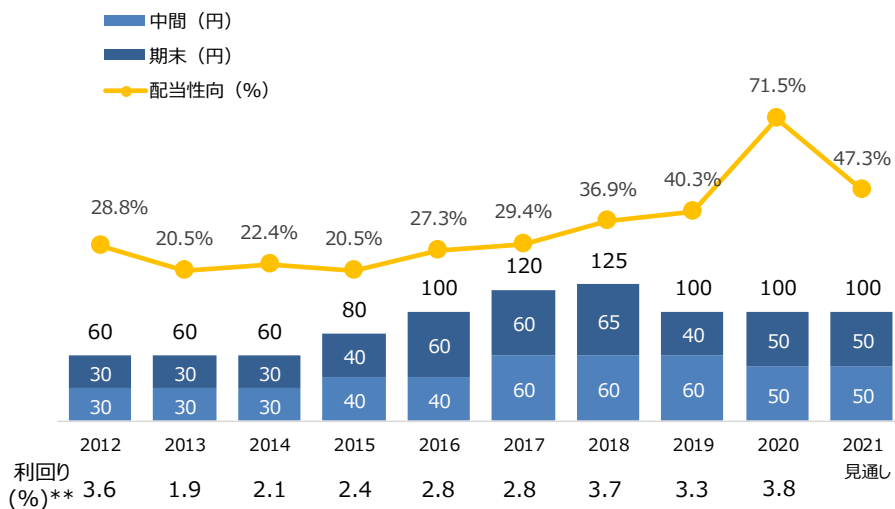
ROE



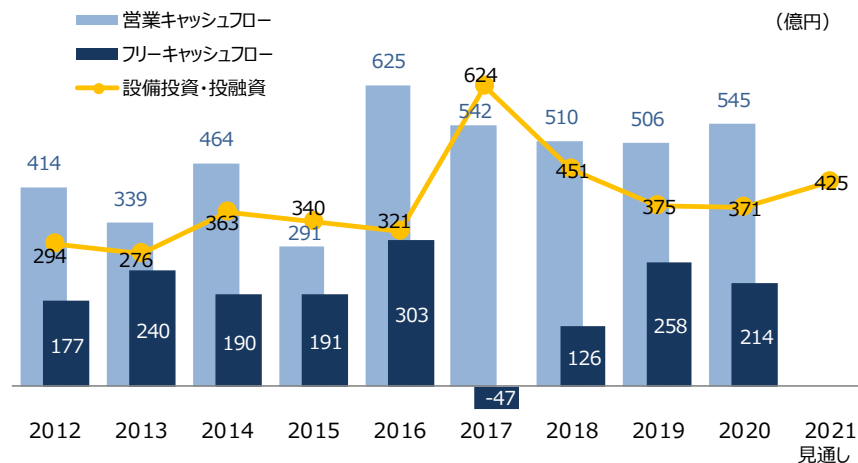
EBITDA***



株主還元*



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り：年間配当金/期末の株価終値

*** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額

ESGに関する社外評価（参考）

DICが組み入れられているESG投資インデックス



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index



FTSE Blossom
Japan

Member of

**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

**S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数**



Color & Comfort

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。